

株式会社ジェイコム千葉 浦安局 平成 23 年度 放送番組審議会 概要

平成 23 年度の放送番組審議会は 2012 年 7 月 13 日(金)に浦安局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

工 藤 渡 様 熊 木 幸 治 様

柴 田 秀 雄 様 (辻田 明 様の代理出席)

徳 田 八 郎 衛 様 野 崎 実 様

三 宅 利 正 様

事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(マンションへの導入について)

委員 マンションへのケーブルテレビ導入の状況について伺いたい。

事業者 多チャンネルテレビサービスのご加入者からは携帯電話へのお問い合わせが多く、それ以外ではインターネットや電話サービスへのお問い合わせが多い。築年数が経過している建物は、同軸ケーブルが老朽化していることがあるので、新サービスに対応できるように、今後はケーブルの改修を含めて提案していきたい。

(沿線番組について)

委員 総武線、京葉線の沿線番組『快撮⇒ちば・いばらき行』は面白いが、どこのスタッフが制作しているのか。ディズニーランドの前にある「イクスピアリ」にもお店があるが同様に沿線番組で扱うことができないのか。

事業者 制作にあたっているのは浦安事務所のスタッフである。「イクスピアリ」は、規制があり一般のお店のように扱うことができない。

(ケーブル切断事故について)

委員 昨年発生したケーブルの切断は大変な事故であった。その後の対策はどうなっているのか。

事業者 光ケーブルが切断されてしまった。対策としては、7 月中に回線の二重化の工事を

実施することになっている。

(取材への評価について)

委員 「浦安住宅管理組合連合会」の行事の取材に関して、市民から「テレビで見るとよくわかる」という評価をいただいている。防災セミナーの取り組みも同様に好評である。東日本大震災以降、J:COM チャンネルでは市民の防災啓発に尽力いただいている。

(スポーツ番組について)

委員 サッカーなどのスポーツを通じて、地域をひとつにすることができ、街づくりにも寄与することになる。J:COM チャンネルでスポーツを扱った番組はどのようなものがあるのか。

事業者 Jリーグサッカーチームの「柏レイソル」の応援番組『レイソル魂』を制作している。その他にもアマチュアスポーツを取り上げることで、地域の活性化の役割を担っていけると感じている。なんとか番組にできるよう検討している。

(無許可配信への対策について)

委員 スマートフォンやタブレットが普及し、どこでも映像を視聴できるようになったことが背景となり、許可なくYouTubeなどで情報や映像を配信されてしまうことがある。これは、広く周知できるというメリットと、期間が終了した映像も流れてしまうというデメリットがある。行政としても対策が必要となってきている。J:COM チャンネルでも同様の事例があったか。

事業者 一部の番組で無許可配信が見受けられたが、対策ができていない状況である。

委員 防ぎようがなく、削除してもまたコピーされることがあり大変問題になっている。ネットへの書き込みなどで収集がつかなくなることもある。プライバシーのない時代になってしまったと言わざるを得ない。メディア側にも覚悟が必要である。

(浦安市内の番組について)

委員 以前に比べて、浦安市内の番組が少なくなったようである。地元のイベントを取り上げることで、市民は自ずと見てみたいという気持ちになる。そうすれば加入者も増えていくはずである。

事業者 全国枠、関東広域枠、千葉 4 局枠となったことで、従来の編成に比べると、だいぶ変更されている。これには地元の情報を広域に発信できるというメリットがある。もちろん地域の人に見ていただきたい地域の情報もある。また、東日本大震災の際、浦安市で 24 時間災害情報を配信したように、ケースバイケースの取り組みも可能となっている。費用の問題もあるが、できる限りバランスのとれた編成を組んでいきたい。

(取材依頼について)

委員 スポーツ大会などの取材はどこに依頼すればよいのか。以前は取材に応じてもらえる番組があった。事前に放送予定も知らせていただいていた。

事業者 ご依頼にすべて応えることは難しいが、メディアセンターにお伝えいただければ、ご依頼の内容、スケジュール、情報の重要度などを検討して取材の可否をお伝えする。現在は『ぐるっと浦安』の番組内での紹介となる。情報はどんどん寄せてほしい。

(番組開始時刻について)

委員 曜日によって番組の開始時刻が異なるため、市民から苦情が寄せられている。

事業者 番組コンテンツの数が少ないことや、更新頻度が月2回の番組を編成していくと現状のようになってしまう。わかりにくい編成になっているので、初回放送日と時間を案内するようにしているのでご了承ください。

(浦安市広報番組について)

委員 『浦安市広報番組』は作りに一考が必要である。例えば「浦安三社祭」を毎年見ている人にとっては、具体的な話題を盛り込まないと飽きてしまう。4 km四方の小さな市なので、ひとつの項目を長く放送するのではなく、多くのニュースを伝えてほしい。

事業者 J:COM チャンネルの放送枠を『浦安市広報番組』に提供している。番組の制作は浦安市となっている。市側にご意見をお伝えしておく。

(旅行番組について)

委員 浦安市は、成田空港に1時間程度で行けるので、簡単に海外旅行に出かけられる土地柄であるといえる。安い航空会社も出てきたので、外国の旅番組の放送も考えてほしい。

事業者 旅行番組のコンテンツが少ないが、まずは関東近隣の紹介からしていき、将来的には海外も取り上げられるよう検討したい。

事業者 平成24年度は、(株)ジェイコム千葉としての放送番組審議会を開催していきたいと考えている。従来の形式の審議会はひとまず今回で終了となる。今後ともケーブルテレビ事業に、ご理解ご協力をいただきたい。

以上